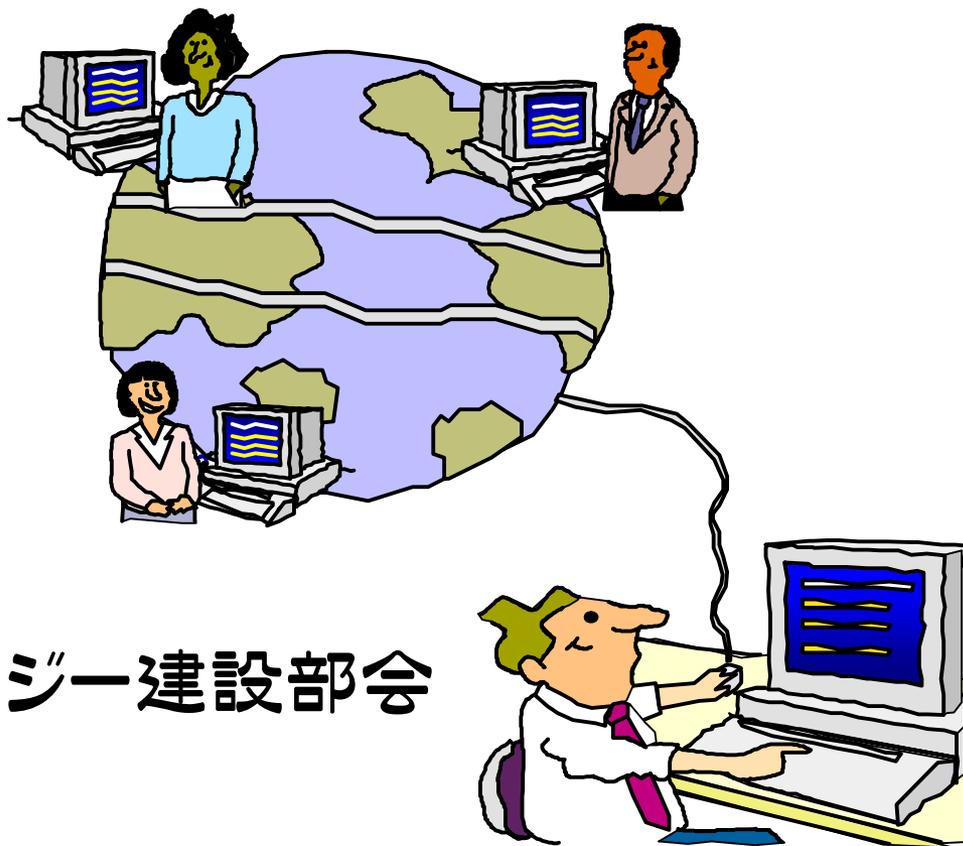


Being Digital

Web化する現実の時代に



2007・7・21 モラロジー建設部会

私の仕事
ITコンサルタント
SE

おなじシステムでも
うまくいく
ところもあるし
いかない
ところもある

何故か？

内的要因

外的要因

経営 = 環境 × 原理

経営とは
環境と原理の乗数
でしかありません

環境と原理

建設業を
取り巻く環境は
厳しさを
増しています。

グローバルイズム 金融資本主義

二極化 分断された経済

**グローバル経済圏への接続
(勝ち組)**

**ドメスティック経済圏
(負け組)**

環境の多くは
我々の手の届かないも
のであることで
偶然のようなものです。

偶然であれば
努力は報われない

しかし
それでは
経営ではないだろう、と。

骰子一擲

いかで偶然を 破棄すべき

ステファヌ・マラルメ

私はインターネット
を
観察し続けてきました

なぜなら
インターネットには
少し先を行く
現実（環境と原理）
があるからです

私は10年前に
Webに出会いました

インターネットの精神文化

自発性（ボランティア）

草の根（グラスルーツ）

開放系（オープン）

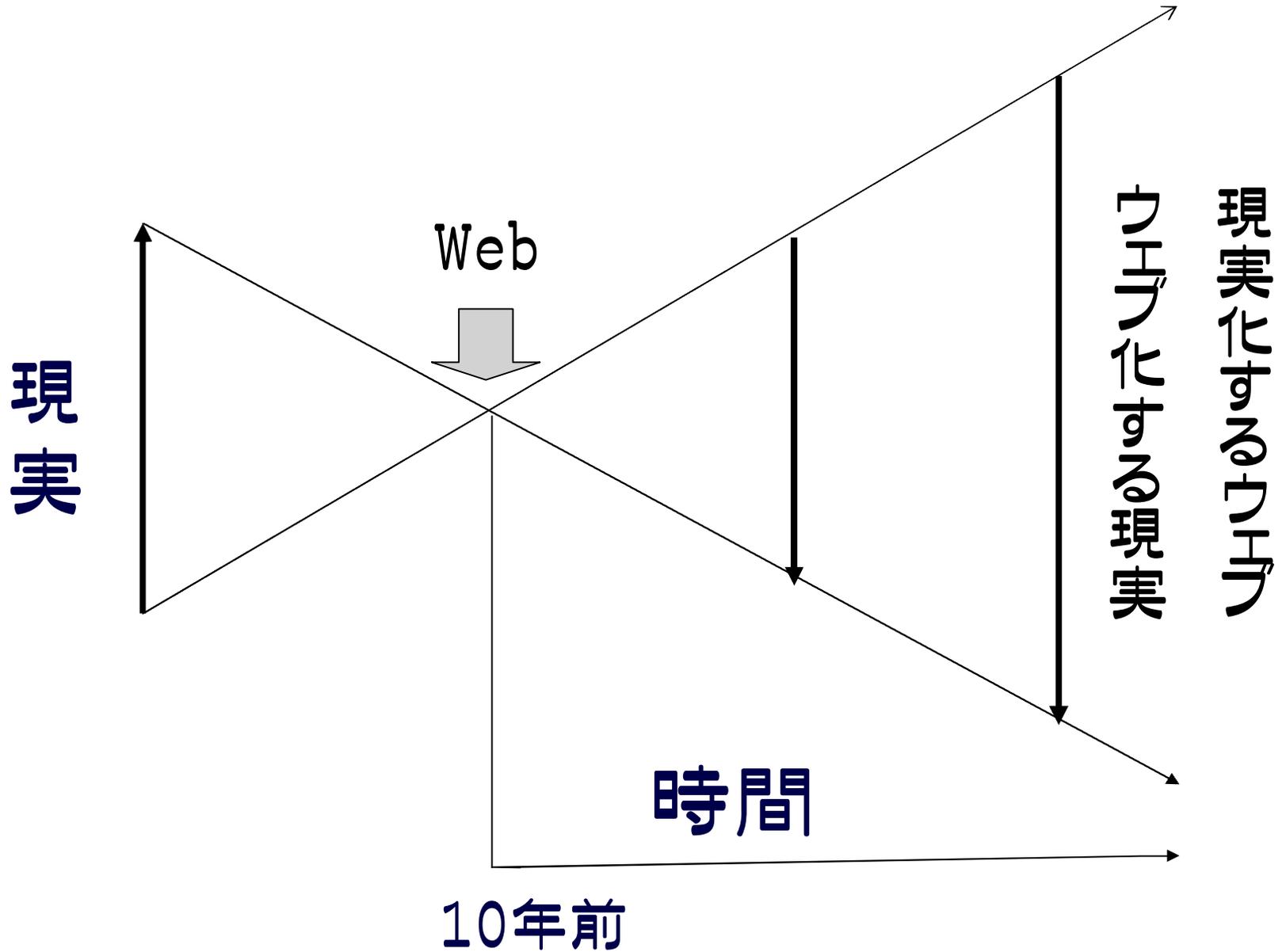
それは
夢のようなもので
でした

それから10年
が
過ぎました

Webとリアルの
境界は
もうありません

キアスムの的
に時代はかわる

キアスム交差図式



そんな時代が
我々に要求しているも
のがあります。

〈目的／目標〉 の差異 の理解

企業の目的は
お金の儲けである

このテーゼは正しい
のでしょうか

お金儲けは

目標であり

目的ではありません

P・F・ドラッカー

企業の目的は
顧客の創造である

私達は
長い間、目的がなく
とも
なんとかなる時代に
生きてきました

開発主義 (戦後経済)

しかしそれは
破壊されました

理念（哲学）なき
人には
目的がありません

しかし今は
理念(哲学)なき
人には
生き辛い時代です

何人も家卑の前で
は英雄足りえず

情報の対象性

それは
インターネットの
傾向として
あつたもの

Web2.0

現実化するWeb / Web化する現実

あれば便利だなと思うものが
Webにある。それも無償で。

Google

無料經濟

限定経済学

〈贈与／交換〉

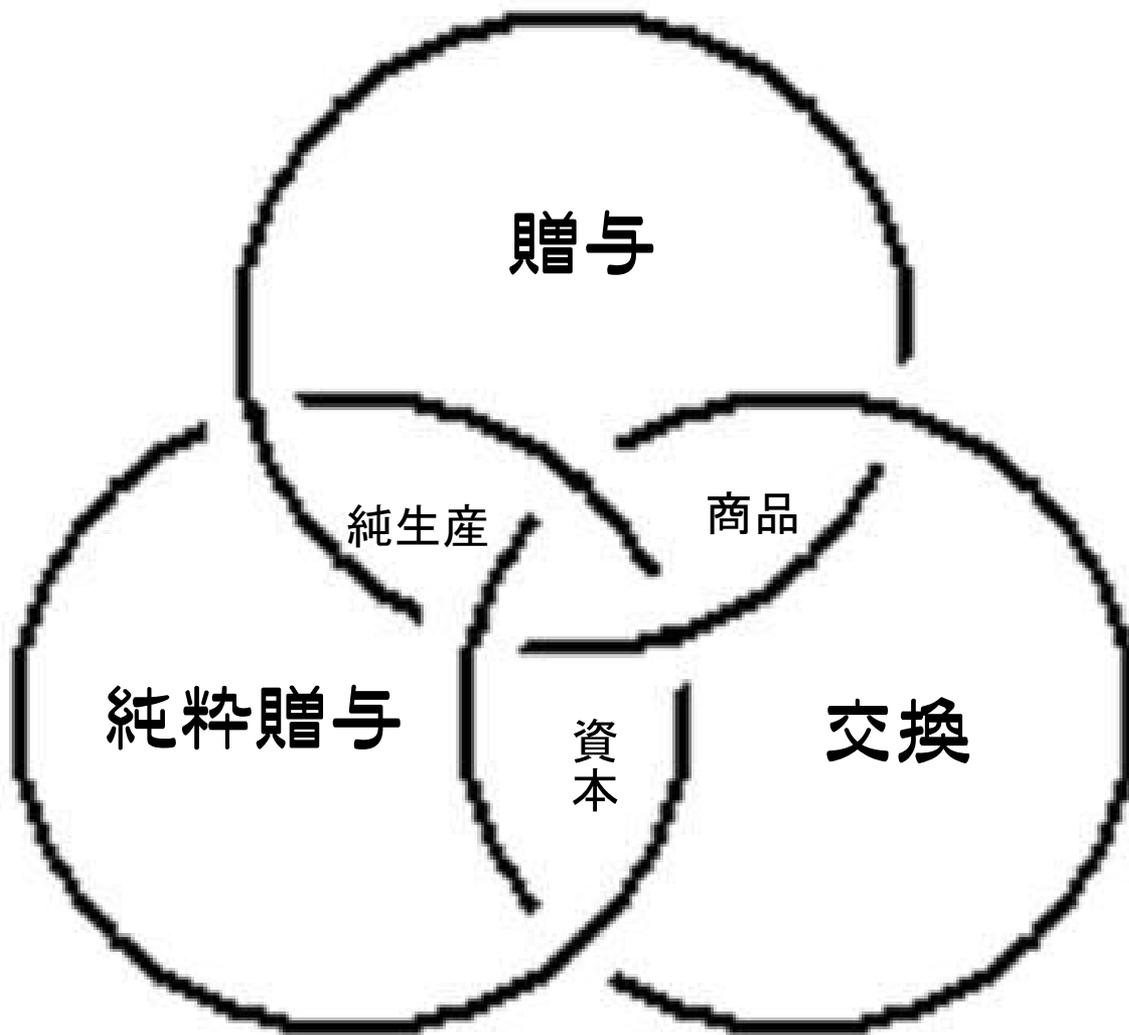
社会的交換
(贈与)



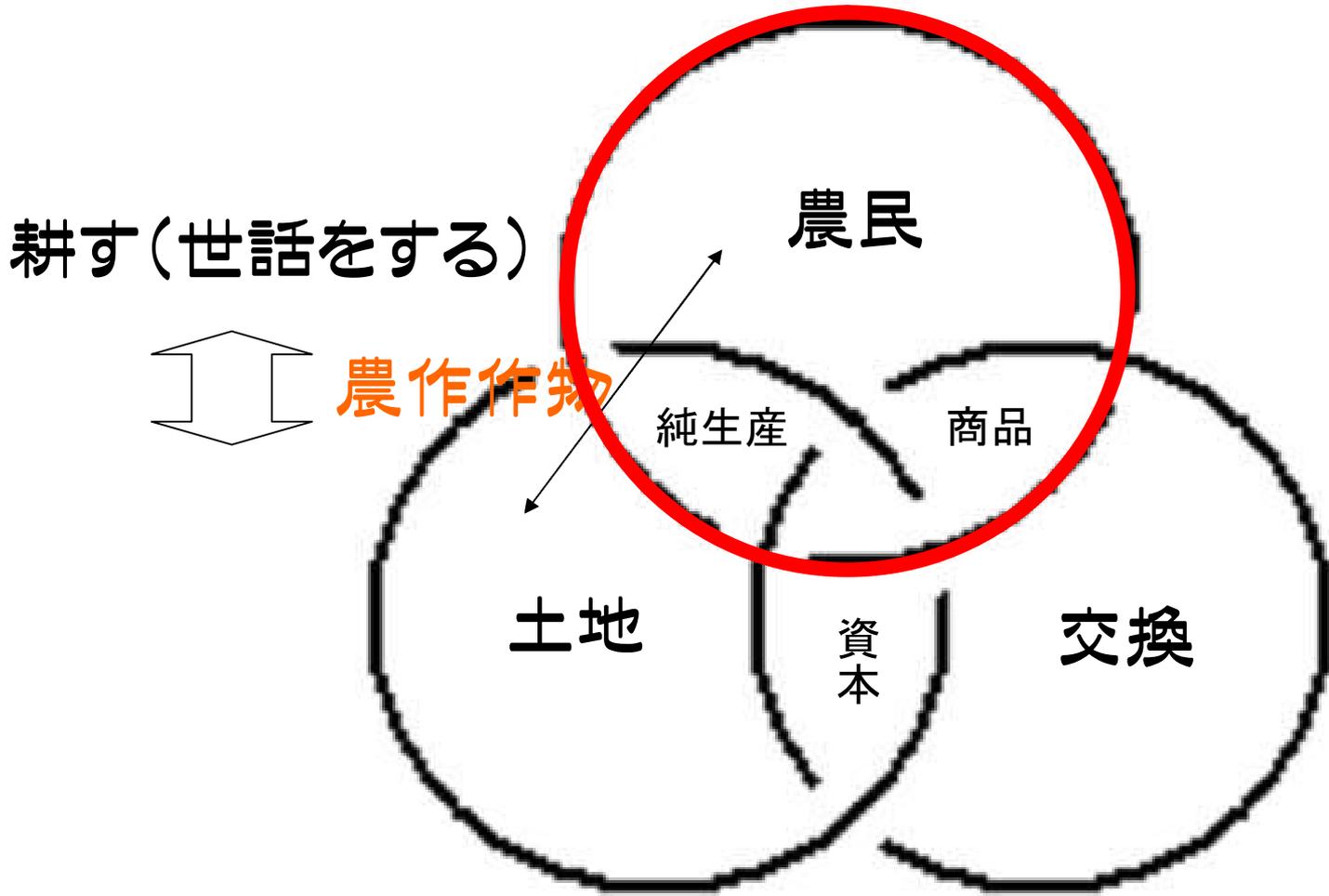
経済的交換
(交換)

Googleは
〈贈与／交換〉の
バイナリーコードでは
とらえきれませんでした

普遍経済学



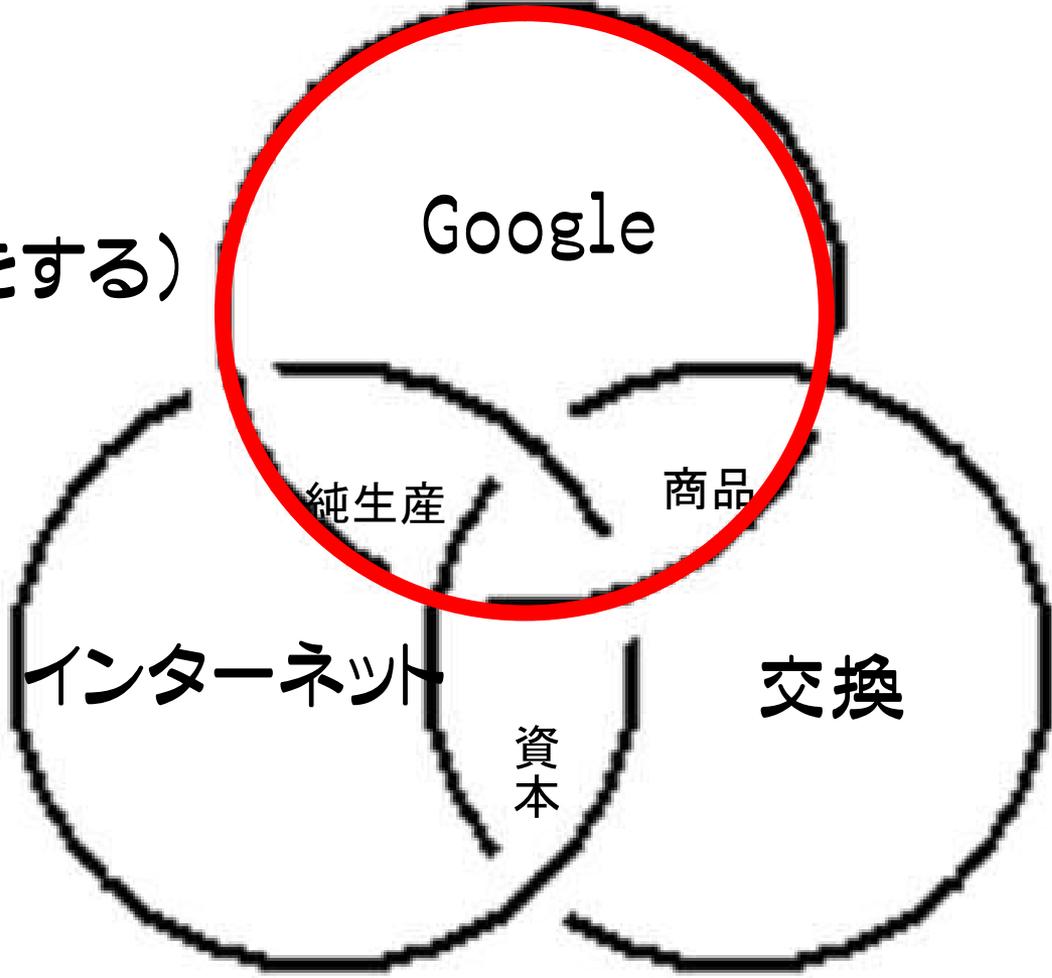
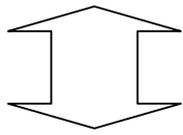
農業の三位一体モデル



交換は後から接続されることで
純生産が商品に転換する。

インターネットの純粹贈与仮説

耕す(世話をする)



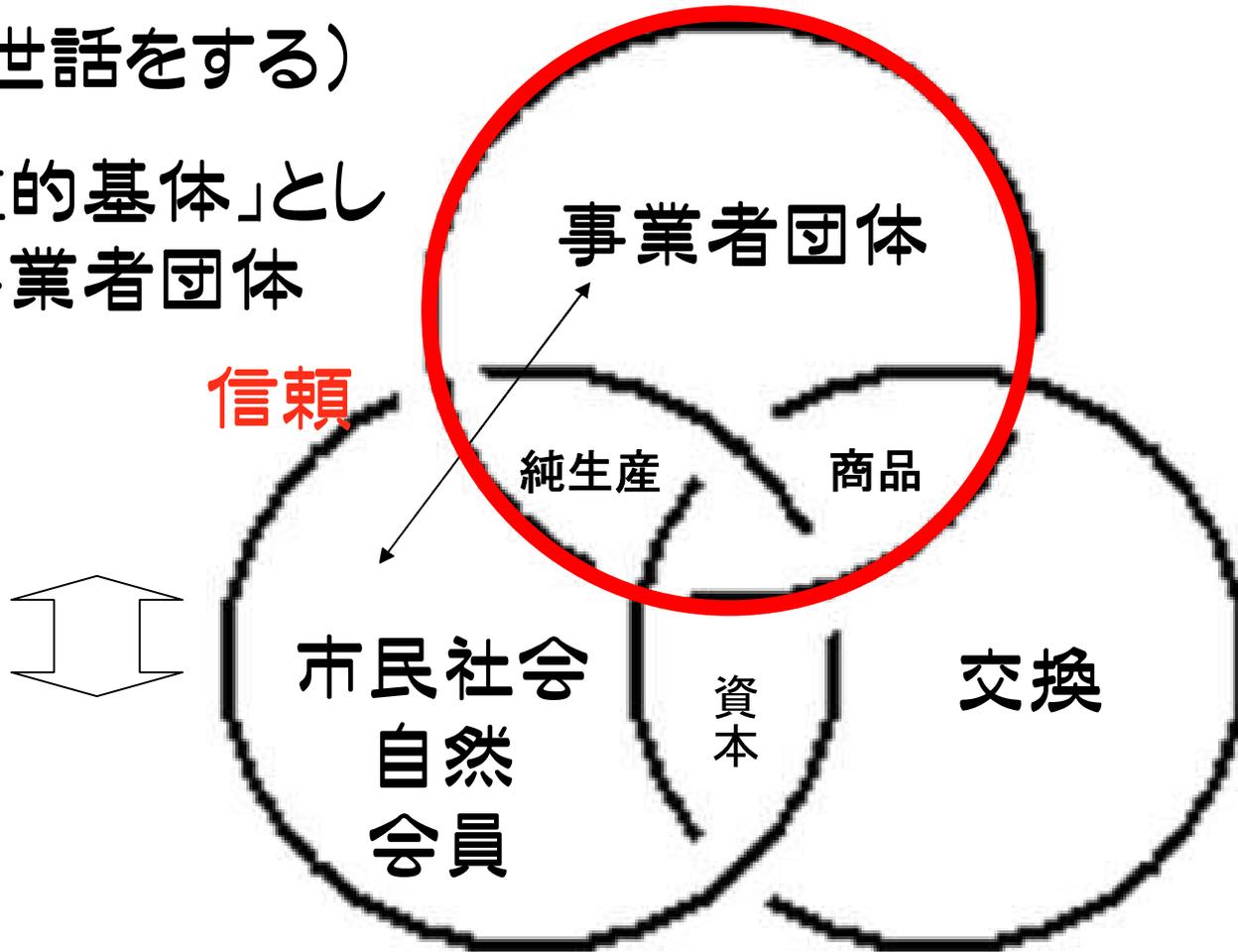
Googleの
目的とは？

モラロジー 建設部会の 目的とは？

事業者団体の三位一体モデル

耕す(世話をする)

その種的基体としての事業者団体



交換は後から接続されることで
純生産が商品に転換する

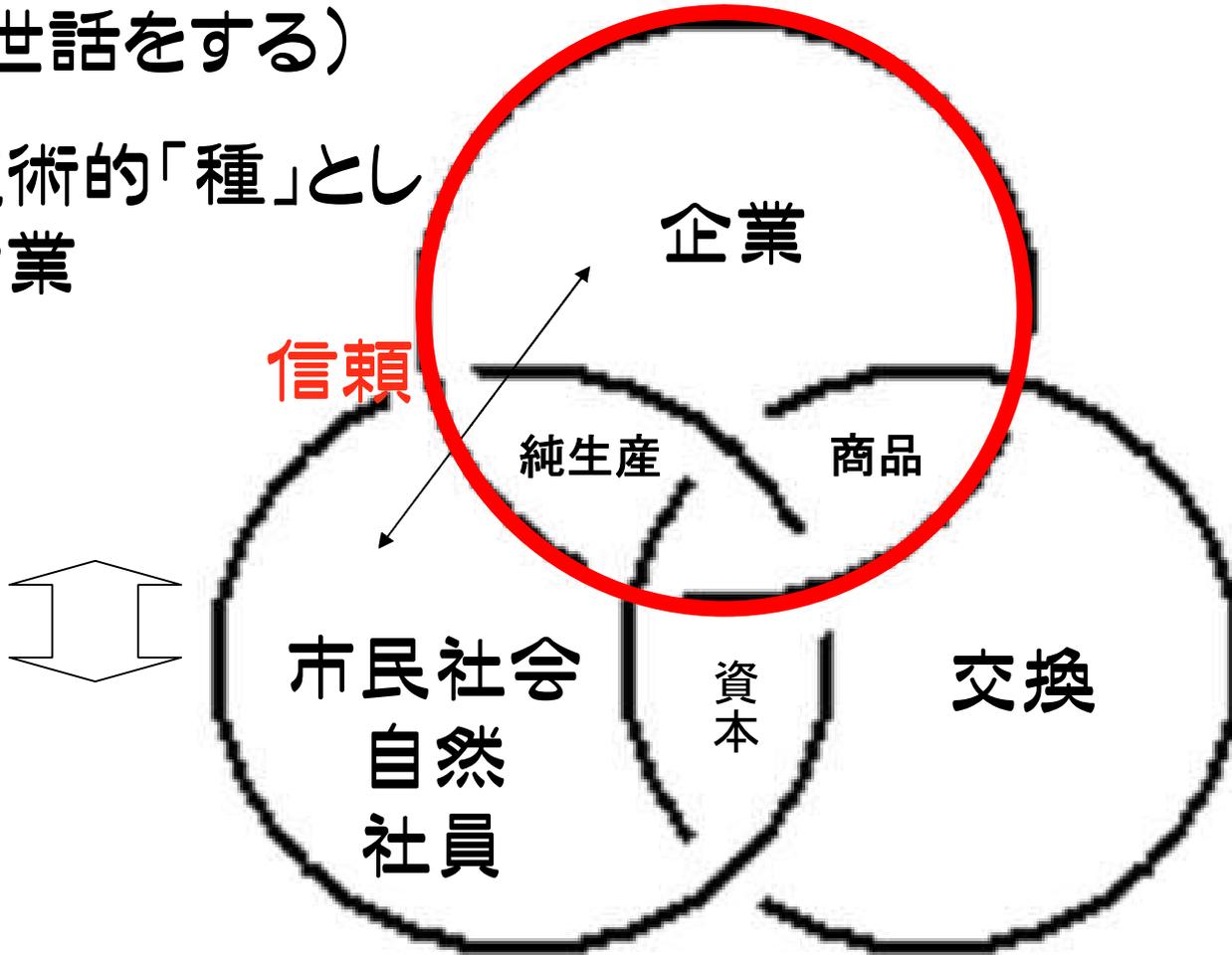
企業の

目的とは？

企業の三位一体モデル

耕す(世話をする)

その技術的「種」としての企業



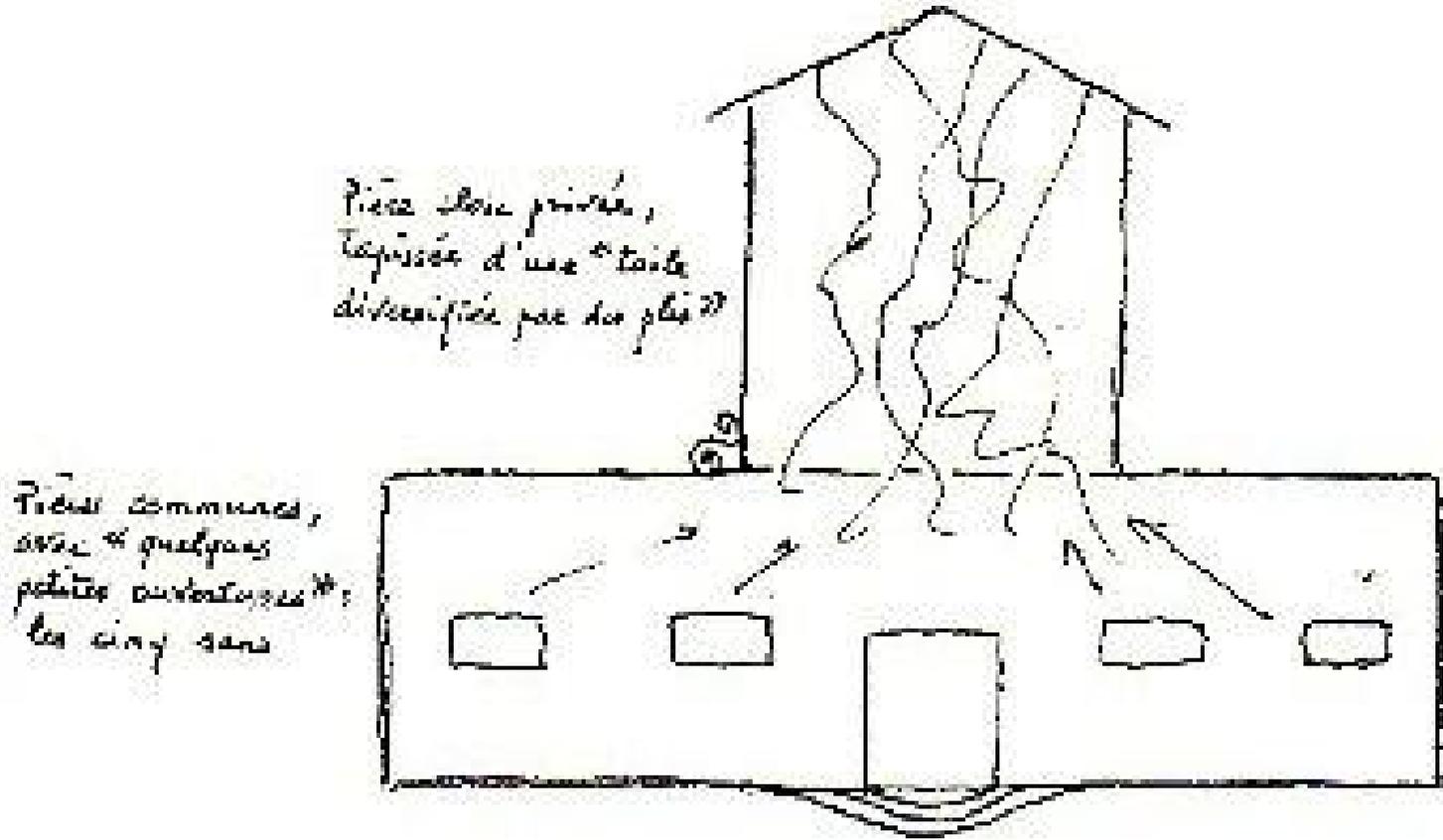
交換は後から接続されることで
純生産が商品に転換する

種的基体

中景

地域社会・学校・企業・
事業者団体・家庭

モナド — ライプニッツ的個



(ジル・ドゥールーズ, 『襞』, p11)

- la maison baroque -
(allégorie)

Web2.0

それはWeb化する現実
現実化するWeb
という

大きな流れです

とりあえずは
大きな動きで流れて
それ以上の
スピードで
流れることで
独自性を保つ

機能分化社会

P・F・ド"ラツカー

「企業は二つの、そして二つだけの基本的な機能を持つ。それがマーケティングとイノベーションである。マーケティングとイノベーションだけが成果をもたらす」

コミュニケーション定義

〈情報 / 伝達〉の差異の理解

ニクラス・ルーマン

情報の持つふたつの意味

momo

- ・インフォメーション
- ・インテリジエンス

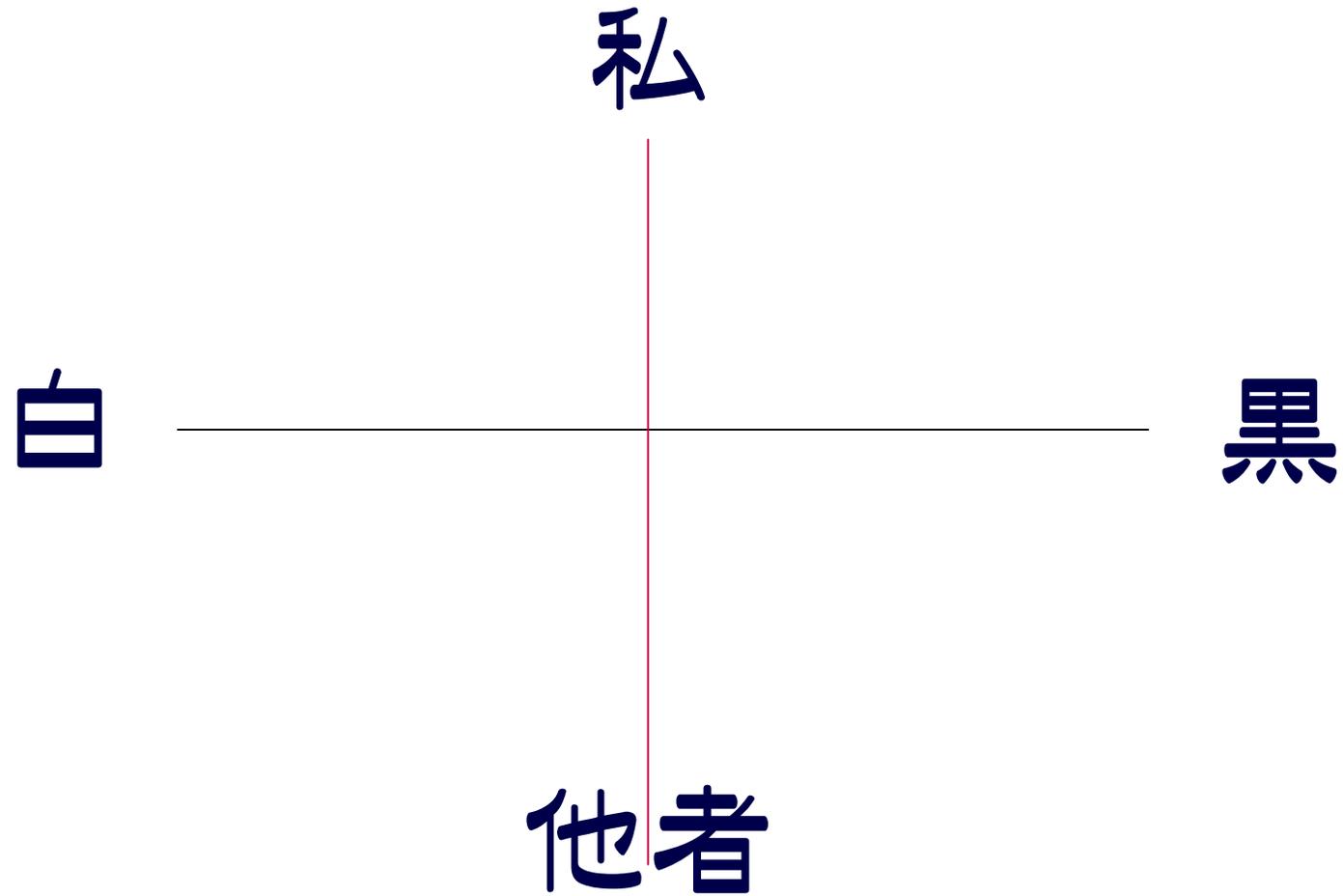
日本人には
この区別ができていない方が
多いようです。

白黒思考 = 線を引くこと
思考しないでそうしている
ことで、〈情報/伝達〉の差異
の理解ができていない。

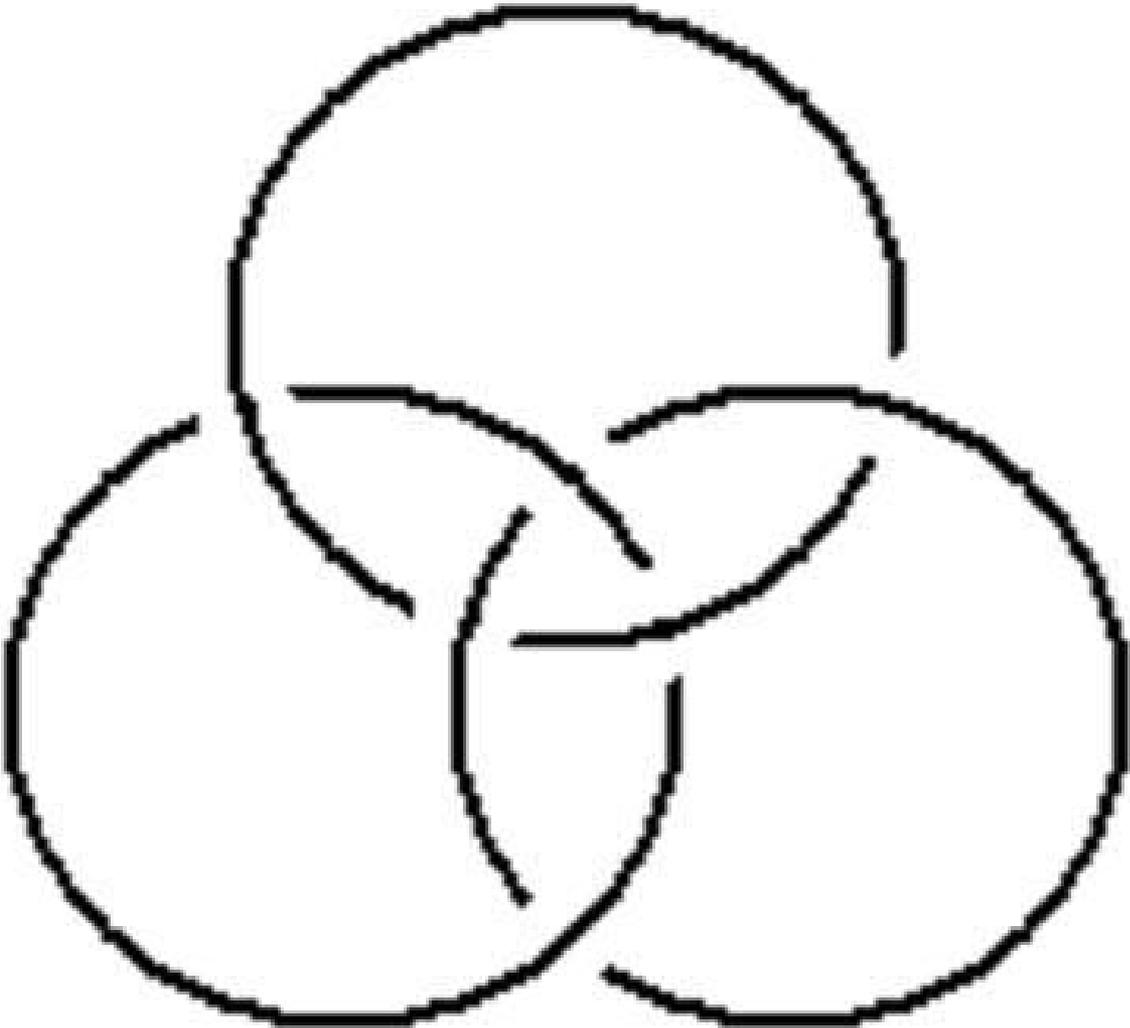
白

黒

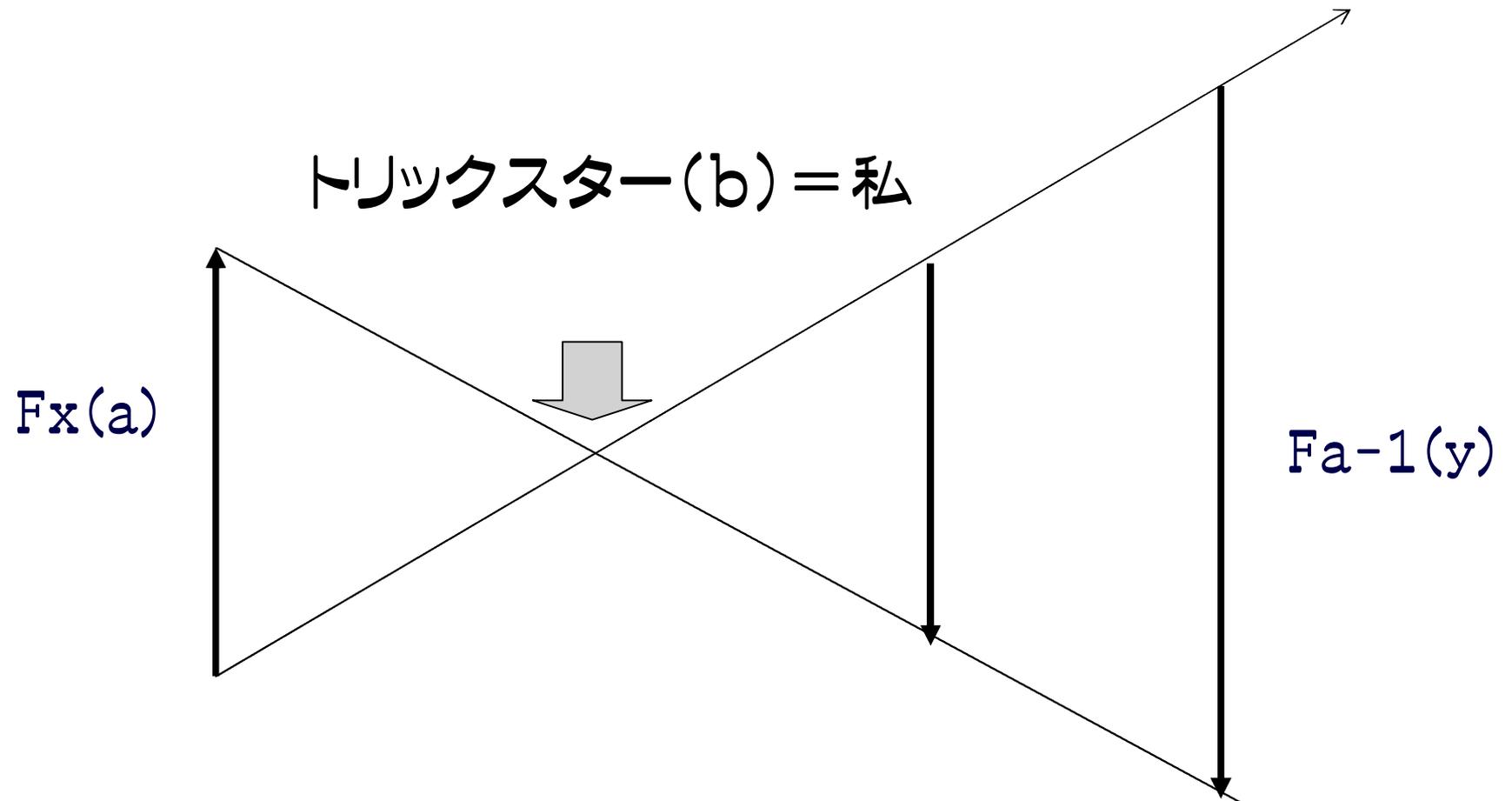
思考すること = 私を置くこと
もう一本線を引くこと



三項へ



時代の流れにひねられないこと



$F_x(a) : F_y(b) \sim F_x(b) : F_{a-1}(y)$
(:はアナロジー関係)

バカ^ッの壁

$$y = ax$$

情報を発信することで
情報を見る能力
(メディア・リテラシー)も高まる
ことで情報を発信する能力
(信頼される能力)も高まる
スパイラルの形成
これをIT化という

係数 a をはぐくむ

こと

種的基体・中景の仕事

理念と目的をもって
情報を
発信すること！

閉じから開放へ

もちどつとこむ

ご清聴ありがとうございました。

桃知 利男



E-mail pinkhip@dc4.so-net.ne.jp

URL <http://www.momoti.com/>

ご面倒でも私宛の連絡はメールでお願いいたします。